

日本ピア・サポート学会

第20回 総会・第19回 研究大会 (浜松大会) のご案内

ピア・サポートのフィールドの広がりと可能性 一人間関係に注目してー

期日：2021年9月19日(日)

主催：日本ピア・サポート学会

後援：静岡県教育委員会、浜松市教育委員会、磐田市教育委員会、静岡文化芸術大学、
第一学院高等学校、一般社団法人日本産業カウンセラー協会中部支部、
日本学校教育相談学会静岡県支部、静岡県司法書士会、静岡県公認心理師協会、
静岡新聞・中日新聞東海本社(予定も含む)

会場：オンライン開催 (Zoom)

ようこそ浜松へ!!

浜松と言えば、徳川家康公が出世城として名高い浜松城を築城した地でもあり、ホンダ創業者本田宗一郎を生んだ地としても有名です。また、最近では大河ドラマにもなった「おんな城主直虎」井伊直弼、「いだてん」田畑政治を連想する方も多いかと思えます。

さて、教育現場に目を向けると、文部科学省(2020)が発表した令和元年のいじめや不登校の認知件数は、小中高及び特別支援学校のいじめは61万2,496件、年間30日以上欠席した不登校の小中学生は18万1,272人と過去最高を記録しています。いじめによって命や心身、財産など深刻な被害を生じた「重大事態」は6年連続で増加しています。また、小学校での暴力行為は、10年間で6倍以上にもなっています。児童生徒が抱える問題の深刻さを示しています。

このような状況は、従来のスクールカウンセラーや適応指導教室の充実だけでは解決しないことを示唆しています。解決を図るためには、学校・学級を児童生徒が助け合い、支え合う親和的な集団に変えることです。その手法の一つとしてピア・サポートが注目されています。

県内では藤枝市が10年前、お隣の愛知県の一宮市では4年前より全市を挙げてピア・サポートに取り組んでいます。浜松市では、教員ばかりでなく産業カウンセラー・司法書士・大学生・災害ボランティア・民生委員・PTA関係者、社会人などがピア・サポート活動に取り組んでいます。

浜松大会でのシンポジウムのテーマは「ピア・サポートのフィールドの広がりと可能性一人間関係に注目してー」です。そこではテーマに沿って学校現場ばかりでなく職場におけるピア・サポートの汎用性についても発信します。加えてゲストシンポジストとして浜松市教育委員会教育長をお招きしました。

新型コロナウイルスの影響を受け、1年延期していた浜松での第19回研究大会は参加者の安心・安全を優先してオンライン形式で1日の実施といたします。

スタッフ一団力を合わせて実りある大会にしていきますので、多くの参加をお待ちしています。

第20回総会・第19回研究大会 大会実行委員長 山口 権 治

第20回総会・第19回研究大会概要

1. プログラム

9月19日（日） 会場 オンライン開催（Zoom）

9:00～ 9:15	9:25～12:05	12:05～ 13:00	13:00～ 14:00	14:10～17:20	17:30～ 17:45
開会式	シンポジウム	昼食	総会 (会員のみ)	研究・実践発表 (分科会) 14:10～16:10 現地特別企画	閉会式

□ 大会企画シンポジウム【9:25～12:05】

テーマ：「ピア・サポートのフィールドの広がりと可能性」
—人間関係に注目して—

人間関係の課題は、学校だけでなく、職場や地域のコミュニティにおいても存在します。そのため、学校だけでなく、あらゆる領域でピア・サポート活動に取り組む必要があります。

今回のシンポジウムでは、教育現場と多様な職場から「ピア・サポートのフィールドの広がり」と可能性—人間関係に注目して—をテーマに3人の方に話題提供をしていただきます。

一宮市教育センター指導主事の西本匡志氏からは行政の取組、佐鳴台小学前校長の鈴木陽子氏からは学校の取組、日本産業カウンセラー協会中部支部副支部長の清水達也氏からは職場の取組をお願いしています。

加えて、ゲストシンポジストとして浜松市教育委員会教育長の花井和徳氏をお招きしています。

話題提供とコメントを受けて、参加者の方々のそれぞれのフィールドにおける課題解決にピア・サポート活動をどのように活かすことができるかを、一緒に議論できることを願っています。

《シンポジスト》

西本 匡志氏（一宮市教育センター指導主事）

鈴木 陽子氏（浜松市立佐鳴台小学校長）

清水 達也氏（産業カウンセラー協会中部支部副会長）

《ゲストシンポジスト》

花井 和徳氏（浜松市教育委員会教育長）

《ファシリテーター》

山田 日吉氏（前学会副会長、岐阜県公立学校スクールカウンセラー）

□ 昼 休 憩 【12:05～13:00】

□ 総 会 【13:00～14:00】 対象：日本ピア・サポート学会会員

□ 現地特別企画会 【14:10～16:10】『学生のための、はじめてのピア・サポート』

ファシリテーター：澤田 涼（名城大学、研修委員）

現地企画として、“ピア・サポートが大学生活にどのように関わっていくのか”、全国の大学生でアイデアを出し合い、共に考える機会を作りました。ピア・サポートに取り組む大学生からの実践発表や大学混合のグループを作って課題解決型の演習を行います。ピア・サポートの経験の有無に関わらず参加者全員が楽しみながら学び合い、活動の悩みを解消できる時間になります。ピア・サポートで得た効果を共有する機会に、これからピア・サポートをはじめの第一歩に、今、ここからピア・サポートを『やらまいか』！

□ 研究・実践発表（分科会） 【14:10～7:20】

1 発表 40 分（発表 20 分＋グループ討議・質疑応答 15 分＋座長からのコメント 5 分）× 4 展開、発表者と発表者の交代時間を 10 分とします。発表要件やエントリーの方法は、下記要項をご確認下さい。

2. 研究・実践発表（分科会）要項

研究および実践について、ZOOM での口頭発表とする。連名で発表する場合は、発表者のうちの一人を「責任発表者」とし、他の連名の方を「連名発表者」とする。

発表申し込み：別紙エントリー表の提出（4月11日(日)22:00 締め切り）。

発表抄録の原稿は、1 発表につき A 4 版 2 ページ（提出 6 月初旬締め切り）。

《手順》 責任発表者：甲 研究紀要委員会：乙

- 1 甲はエントリー票（別紙）を作成し、期日までに申し込み（学会事務局宛て）を行う。
- 2 乙は、エントリー票に記載されたメールアドレスに「発表原稿作成テンプレート」「倫理規定」「書き方例」等を送信する。
- 3 甲は書き方例を参考にテンプレートに発表原稿を作成し、期日までに乙に提出する。
- 4 乙は原稿の査読を行い、修正等がある場合は甲に連絡し、修正を依頼する。
- 5 乙は最終原稿を取りまとめ、発表論文集を作成し、事前にメールにて参加者に配布する。

《発表要件》

以下の条件を満たすことによって、正式発表を認める。

- 1 発表論文集に発表原稿が掲載されること。
- 2 日本ピア・サポート学会の会員であること（令和 2 年度までの年会費を納めていること）。
- 3 責任発表者は、一人 1 回に限る。ただし、連名発表者についてはこの限りではない。
- 4 同一の研究・実践に関わる発表は、2 発表までとする。
- 5 プログラム編成の都合から、連名発表者の発表時間が重なってしまうこともあり得ることを了解する。
- 6 Zoomを活用して発表資料を共有しながら発表すること。

研究・実践発表お申込み先 ※今回の申込方法はメールのみとなります。

担当 学会事務局 高橋哲也

E-mail : jpsa.bunkakai@gmail.com

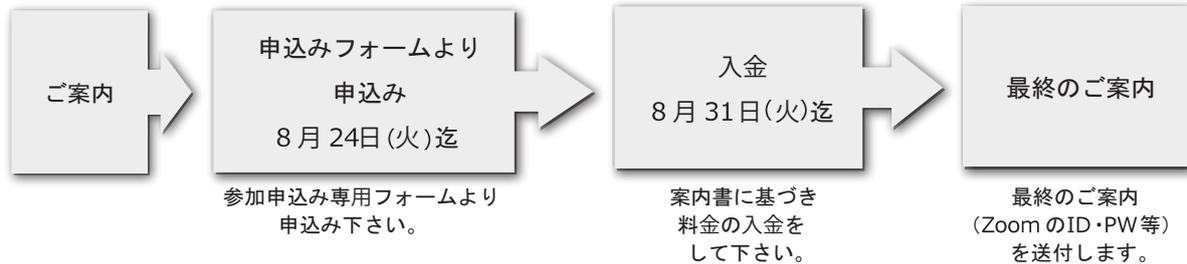
研究・実践発表お問い合わせ先

※発表に関するお問い合わせは研究紀要委員長 栗原慎二までお願いします。

E-mail : skuri@hiroshima-u.ac.jp

大会参加申込みのご案内

(1) 申込みスケジュール



申込み締切日：2021年8月24日(火)

(2) 申込み方法

下記の申込み専用フォームに必要事項を入力の上 2021年8月24日(火)までに送信ください。

【申込み専用フォーム】 <https://forms.gle/nDfZhR3HxM9pB5xS7>

※メール・電話・FAXでの申込みは受付けておりません。予めご了承ください。



申込みフォーム

(3) 確認・精算方法

申込みをされた方は、指定の口座へ2021年8月31日(火)までに振込みをしてください。振込みの際、手数料は申込者ご自身の負担にてお願い致します。

【郵便局 振込先】

(口座記号・番号) 00860-2-189790

(加入者名) 日本ピア・サポート学会静岡支部

※通信欄には「大会参加費等」とご記入ください。

(4) 大会参加費 (税込)

	会 員	会員 (学生)	非会員	非会員 (学生)
大会参加費	5,000円	2,000円	6,000円	3,000円
シンポジウムのみ参加費 (非会員のみ)			2,000円	1,000円
現地企画のみ参加費 (非会員のみ)			2,000円	無 料

※振込みいただいた参加費は返金致しません。予めご了承ください。

(5) 大会申込みに関するお問い合わせ

日本ピア・サポート学会静岡支部事務局

e-mail : peer.shizu@gmail.com

(6) その他

ZOOMによるオンライン開催とします。

当日の注意事項は別途お知らせします。